

取扱説明書

完全ワイヤレスイヤホン

Ver. 3.0

型番: GRFD-SWE100M30



| もくじ | ページ |
|---------------------------|-----|
| 安全上の注意 | 2 |
| 使用上の注意 | 4 |
| 各部の名称 | 4 |
| 充電のしかた | 5 |
| 使いかた | 6 |
| 故障かなと思ったら | 10 |
| リチウム電池リサイクルについて | 10 |
| お手入れ | 11 |
| 本製品の防水性能について | 11 |
| 商品仕様 | 12 |
| Bluetoothについて | 13 |
| 保証書・保証規定 | 14 |

- この度は 完全ワイヤレスイヤホンをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。特に「安全上の注意」、「充電のしかた」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになった後はいつでも見ることのできる場所に保管してください。
- 保証書はこの説明書の14ページに載っています。レシートとともに保管してください。

この製品は日本国外でのアフターサービスは出来ません。
No service is available outside of Japan.

安全上の注意 必ず守ること

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使いかたをした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみ発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、しては
いけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行
していただく「強制」内容です。



警告

■絶対に分解したり、改造しない



火災・感電の原因になります。

■火の中に投入したり、加熱しない



破裂による火災・けがの原因になります。

■水につけたり、水をかけない



感電・故障の原因になります。

■本製品内蔵の電池が液漏れした場合は
直ちに使用を中止する



発火・炸裂の原因になります。

■本製品内蔵の電池の液が目に入ったときは、
こすらずにきれいな水で洗ったあと、
直ちに医師に相談する



失明などの原因になります。

■運転中は使用しない



自動車、オートバイ、自転車などの
運転中はイヤホンを使用したり、細
かい操作をしたりすることは絶対に
お止めください。交通事故の原因に
なります。

■周囲の音が聞こえないと危険な場所では
使用しない



踏切や駅のホーム、車の通る道、
工事現場などでは周囲の音が聞こ
えないと危険です。事故やけがの
原因になります。

■異常・故障時は直ちに使用を中止する



液漏・発火・炸裂の原因になります。

■雷が鳴り出したら、本体やUSBケーブルに
触れない



感電の原因になります。

安全上の注意 必ず守ること



注意

- 本製品に強い衝撃や圧力を加えない



液漏・発火・炸裂の原因になります。

- 油煙、湯気、湿度、ほこりの多い場所で使用しない



火災・感電・故障の原因になります。

- 医療機器の近くで使わない



電波が医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。

- 心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す



電波の影響で誤動作の原因となるおそれがあります。

- 航空機内で使用する場合は、客室乗務員の指示に従う



電波の影響で誤動作の原因となるおそれがあります。

- 大音量で長時間連続使用しない



聴力障害などの原因になることがあります。

- 使用開始時はボリュームを下げてから装着する



突然大きな音が出て、耳をいためる原因になります。

- 製品仕様の充電時間を過ぎても充電が完了しない場合は、充電を中止する



液漏・発火・炸裂の原因になります。

- 直射日光が強いところ、炎天下の車内での使用や保管をしない



破損・発熱の原因になります。

- 本製品を温度の高くなるストーブ・コンロなどの近くに置かない



液漏・本体の変形の原因、寿命が短くなることがあります。

- 小さなお子様の手の届かないところに保管する



誤飲など思わぬ事故をまねくことがあります。

- Type-Cケーブルを抜くときはケーブルを持たずに必ずプラグを持って引き抜く



ケーブルを持って抜くと断線や故障の原因になります。

- 充電中は、本製品および充電ケーブルの周りに物を置かない



感電・ショートの原因になります。

- 充電ケースを他の製品に使用しない、イヤホン以外のものを入れない



感電・火災・ショート・故障の原因になります。

- イヤホンおよび充電ケースをキャッシュカードなどの磁気カードに近づけない



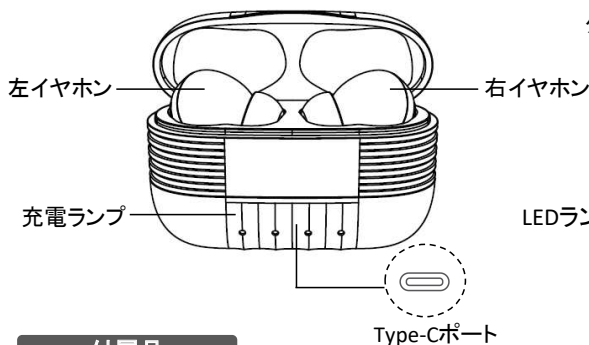
本製品に内蔵された磁石の影響により、カード情報が損なわれる可能性があります。

使用上の注意

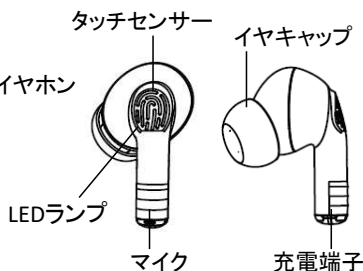
- 本製品の使用に関して、お使いの機器のメモリー内容が消去されても保証は一切いたしません。あらかじめご了承ください。
- 補聴器、ペースメーカー、その他の医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器に影響を与えるおそれがあります。誤動作による故障や事故の原因になりますので、本製品を近くでは使用しないでください。
- 交通機関や公共の場所では音量に注意し、周りの方の迷惑にならないようにしてください。
- 本製品の使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。
- 本書に記載されている以外でのご使用にて損害が発生した場合は、弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品を使用せず、長期間保管した場合、バッテリー性能は低下します。何回か充放電を繰り返すと回復します。
- 本製品は国内専用です。海外では国によって電波使用制限があるため、本製品を使用した場合、罰せられることがあります。

各部の名称

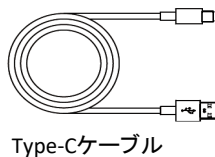
充電ケース



イヤホン本体



付属品



充電のしかた

初めてお使いになる前に本製品を満充電してからご使用ください。

イヤホンの充電

イヤホンをケースに収納すると充電を開始します。バッテリー容量が不足すると「battery low」という音声が入りこみますので充電してください。音声が入りこめた後、電源がOFFになります。

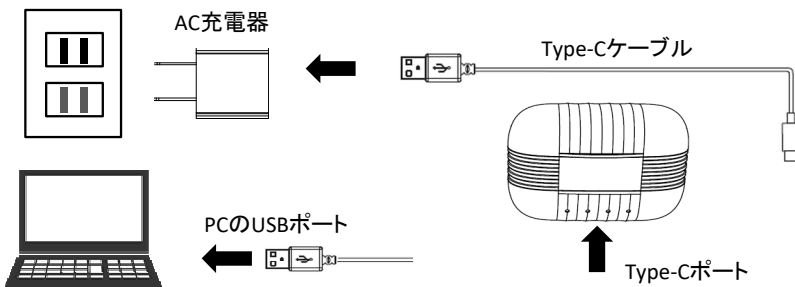
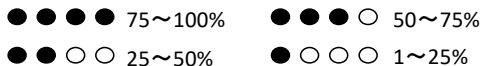
- 片側イヤホンを使用後イヤホンをケースに戻すと、ケースのイヤホンが満充電されている場合、戻したイヤホンは充電されません。両方のイヤホンをケースから取り出してからケースに戻すと充電されます。
- ケースおよびイヤホンの充電端子(P.4)が汚れていると、充電できない場合があります。充電端子が汚れている場合、柔らかい布や綿棒、ブラシなどで取り除いてください。
- 汚れがひどい場合は、アルコール系のウェットティッシュで汚れを取り除き、乾いた布でふき取ってください。

ケースの充電

USB規格に適合したパソコンについているUSBポートやUSBポートのあるAC充電器と付属のType-Cケーブルを使用して充電してください。

インジケータの数がケースのバッテリーの残量を表しています。充電中はインジケータが青に点滅し、満充電されると点滅が点灯に変わります。充電後はケーブルを外してください。しばらくした後に消灯します。

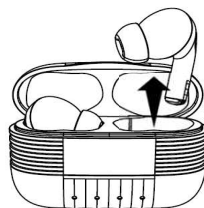
バッテリー残量表示



使いかた

イヤホンを取り出す

イヤホンはケースにマグネットで固定されています。
イヤホンをつまみ上げて取り出してください。

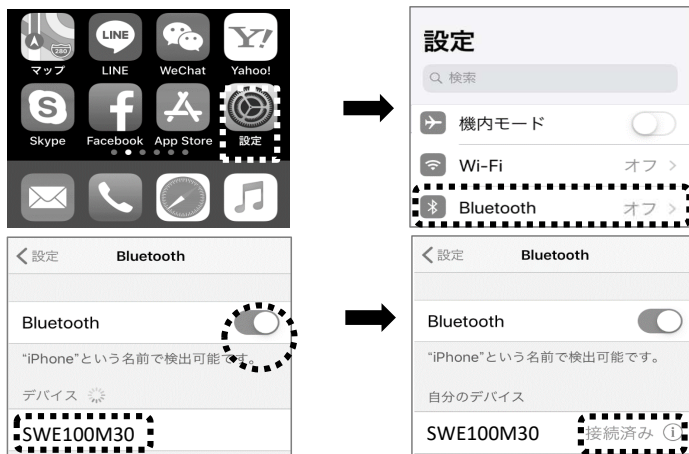


ペアリング

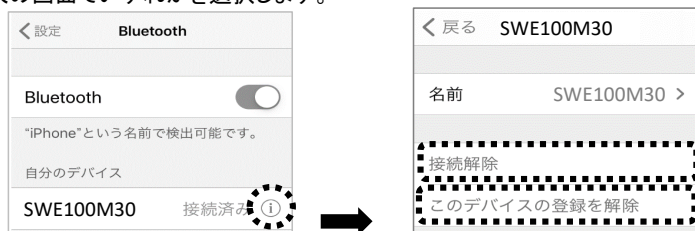
1. ケースからイヤホンを取り出すと、イヤホン同士が自動的にペアリングされます。
2. スマートフォンの設定から、Bluetoothを立ち上げます。
3. 検索されたデバイスの一覧から「SWE100M30」をタップします。接続すると「Connected」と音声が入聞こえてLEDランプが消えます。

- Android端末でデバイス一覧に「SWE100M30」がない場合はスキャンをタップしてください。
- 接続がうまくいかなかった場合は、スマートフォンのBluetooth接続を解除して、最初からやり直してください。

iPhoneでの参考例



- Bluetooth接続を解除したり、登録を削除したい場合は、デバイス名の右をタップして次の画面でいずれかを選択します。



使いかた

ペアリング(続き)

4. ケースからイヤホンを取り出し装着します。
 5. 使用後はイヤホンをケースに戻してフタをしてください。Bluetoothがオフになり自動的に充電を開始します。イヤホンの電源はオフになります。
- Bluetooth接続状態でイヤホンをケースに戻さないと、電源は切れません。そのまま放置すると電力を消耗しますので、しばらく使用しない場合はケースに戻すか、手動でイヤホンの電源をオフ(P.8の「電源を切る」を参照)にしてください。
 - 2回目以降のご使用では、イヤホンをケースから取り出すと、最後に接続したBluetoothデバイスと自動的にペアリングされます。

イヤホンの装着

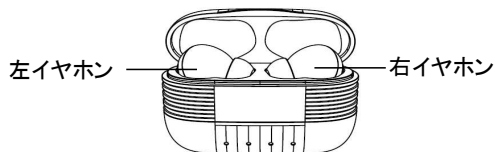
耳のくぼみにあわせて軽く回して装着します。

- 頭を軽く振ってみて、しっかり装着されたかを確認してください。しっかり装着しないと耳から外れて脱落や紛失するおそれがありますので、ご注意ください。
- 左右を間違えないように装着してください。
- マイクがある方を口元に向けてください。
- イヤークリップのサイズが合わない場合は、付属の他のサイズに交換してください。



片耳で使う

1. 左右いずれかのイヤホンをケースから取り出すと、LEDランプが赤と青に点滅してBluetoothペアリングモードになります。
 2. スマートフォンの設定からBluetoothを立ち上げます。
 3. 検索されたデバイスから、「SWE100M30」をタップしてください。接続されるとLEDランプが消えます。
- 左右いずれかのイヤホンを使用中に、もう一方のイヤホンをケースから取り出すと自動的にペアリングされ、両方から音が聞こえるようになります。
 - 片側イヤホンがオンの状態で、最後に接続したBluetoothデバイスと自動的にペアリングされない場合は、タッチセンサーを1回タップするとペアリングされます。
 - 2つのイヤホンが同じBluetoothの通信範囲内にあれば、ペアリングが優先されますが、通信範囲外であれば、それぞれのイヤホンは別々のBluetoothデバイスと接続して単独に使用することができます。
 - 片側イヤホンを使用後イヤホンをケースに戻すと、ケースのイヤホンが満充電されている場合、戻したイヤホンは充電されません。両方のイヤホンをケースから取り出してからケースに戻すと充電されます。



使いかた

リセットする

接続がうまくいかない場合や初期状態に戻したい場合は、以下の手順に従ってイヤホンをリセットしてください。

1. スマートフォンのBluetooth設定でSWE100M30を削除します。
2. スマートフォンのBluetooth接続をオフにしてください。
3. 両方のイヤホンをケースから取り出します。
4. 左右いずれかのイヤホンの電源ボタンを短く5回押しすと信号音が聞こえます。
5. 両方のイヤホンをケースに戻すとLEDランプが赤に点灯します。
6. 約5秒後、もう一度取り出すと、イヤホンのLEDランプが赤と青に点滅します。
7. 右のイヤホンを電源ボタンを2回押しすと、LEDランプが青に点滅してペアリングされます。
8. スマートフォンのBluetooth接続をオンにしてください。

その他の機能

電源を入れる

イヤホンの電源を入れるには2つの方法があります。

方法1: 充電ケースからイヤホンを取り出すと、イヤホン同士が自動的にペアリングされます。LEDランプが青く点滅してBluetoothペアリングモードになります。

方法2: イヤホンの電源がオフの状態、タッチセンサーを約4秒長押しすると「Power on」という音声聞こえてLEDランプが赤と青に点滅してBluetoothペアリングモードになります。左右のイヤホンのそれぞれで行ってください。

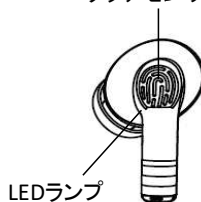
電源を切る

電源を切るには2つの方法があります。

方法1: イヤホンをケースに収納し、フタを閉めます。

方法2: いずれかのイヤホンのタッチセンサーを約4秒長押しすると「Power off」という音声聞こえて、LEDランプが赤く点滅してから両方のイヤホンの電源がOFFになります。

タッチセンサー



着信応答

着信時に左右いずれかのイヤホンのタッチセンサーを2回タップすると着信に応答できます。通話を終了する場合は左右いずれかのイヤホンのタッチセンサーを2回タップします。

着信拒否

着信を拒否する場合は、左右いずれかのイヤホンのタッチセンサーを約2秒長押しします。

使いかた

再生／一時停止

音楽視聴中に左右いずれかのイヤホンのタッチセンサーを2回タップすると一時停止します。もう一度、左右いずれかのイヤホンのタッチセンサーを2回タップすると一時停止が解除されます。

曲送り／曲戻し

右イヤホンのタッチセンサーを3回タップすると曲送ります。
左イヤホンのタッチセンサーを3回タップすると曲戻します。

音声アシスタント

左右いずれかのイヤホンのタッチセンサーを約2秒押すと音声アシスタント(Siriなど)が立ち上がります。音声指示してください。

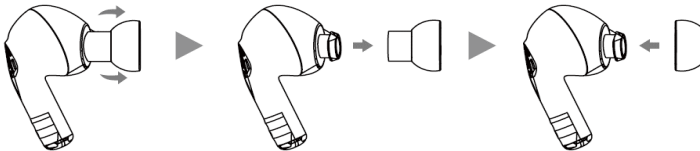
もう一度、左右いずれかのイヤホンのタッチセンサーを2秒押すと元のモードに戻ります。

その他の機能

- 音楽視聴中にBluetooth通信可能範囲外に出て接続が切断されると、信号音が聞こえます。2分以内に範囲内に戻ると信号音が聞こえ、自動的にBluetooth接続を復旧します。スマートフォンの音楽再生をタップするかイヤホンのタッチセンサーを2回タップすると再生が再スタートします。通信可能範囲外で約3分間経過すると自動的に電源がオフになります。

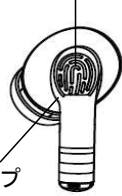
イヤークャップの交換

- 本製品には3種類(S/M/L)のイヤークャップが付属しています。耳に合ったサイズを選んでご使用ください。最初に本体にはMサイズが装着されています。
- イヤークャップが確実に固定されていないと、使用中に外れて耳の中に残る場合があります。確実に固定されていることを確認してください。



タッチセンサー

LEDランプ



故障かなと思ったら

電源が入らない

- イヤホンの電池残量が低下しています。ケースにセットして充電してください。
- ケースの電池残量がない場合は、イヤホンを入れた状態でケースを充電してください。

充電できない

- ケースおよびイヤホンの充電端子(P.4を参照)をご確認ください。
- 充電端子が汚れている場合、柔らかい布や綿棒、ブラシなどで取り除いてください。汚れがひどい場合はアルコール系のウェットティッシュで汚れを取り除き、乾いた布でふき取ってください。

Bluetoothデバイスとペアリングできない

- 接続するBluetoothデバイスが使用可能な状態であることを確認してください。
- 接続するBluetoothデバイスが本製品のプロファイルに対応しているか確認してください。
- Bluetoothデバイスの設定でBluetoothをオフにしてから再度オンする、または登録を削除してから、やり直してください。
- リセット(P.8「リセットする」を参照)してから、ペアリングをやり直してください。
- 本製品とBluetoothデバイスを近づけてからペアリングしてください。
- Bluetoothデバイスが他の機器とBluetooth接続している場合は解除してから、本製品とペアリングしてください。

ノイズやエコー音が入る

- Bluetoothデバイスとの間に障害物がないか確認してください。
- Bluetoothの通信範囲内(約10m)にあるか確認してください。
- 通信が干渉される可能性のある無線LANのそばで使用している場合は、無線LANをオフにするか、10m以上離れた場所で使用してください。

通話相手に自分の声が聞こえない

- スマートフォン、PC、タブレットがBluetooth機能を搭載し、HFP・HSPに対応している必要があります。ご使用の接続機器やソフトの環境により、マイク入力を手動で設定する必要がありますので、それぞれの設定をご確認ください。また、対応しない場合がございますので、ご了承ください。ご使用できない場合は、有線イヤホンを推奨いたします。

リチウム電池のリサイクルについて



この製品にはリチウムイオン電池が使用されています。不要になりました電池は廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。希少資源を有効に活用するため、リサイクルにご協力ください。

お手入れ

イヤホン・ケース

汗や水が付着したままにしておくと、充電ができなくなる原因となりますので、ご使用後は速やかにふき取ってください。

- お手入れには、乾いた布か、水に浸した柔らかい布をよく絞りお使いください。
- シンナー、ベンジンなどの溶剤・洗剤を使用しないでください。
- 本製品を水や石けんで洗わないでください。
- ケースおよびイヤホンの充電端子(P.4)が汚れていると、充電できない場合があります。ので定期的に清掃してください。充電端子が汚れている場合、柔らかい布や綿棒、ブラシなどで取り除いてください。
- 汚れがひどい場合は、アルコール系のウェットティッシュで汚れを取り除き、乾いた布でふき取ってください。

イヤークャップ

- イヤホンからキャップを外し、薄めた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は、水気をよくふいてから取り付けてください。

本製品の防水性能について

イヤホン本体

本製品のイヤホン本体は、防水規格IPX4相当の仕様となっています。いかなる方向からの水の飛沫によっても有害な影響を受けません。防水仕様は永続的なものではなく、通常の使用によって防水性能は低下する場合があります。

- 完全防水ではありませんので、水中では使用しないでください。
- 故意に流水を浴びせたり、水没させないでください。
- 本製品を水や石けんで洗わないでください。
- お風呂やシャワーでの使用は推奨しておりません。
- イヤホンについた汗、雨水、海水などをよくふき取ってください。
- お客様の誤った取り扱いにより水の侵入で故障した場合は保証対象外となります。

充電ケース・充電用ケーブル

本製品に付属する充電ケースおよび充電ケーブル類は防水仕様ではありません。水がかかるとの恐れがある場所で使用しないでください。

商品仕様

商品向上のため、仕様は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

| | | |
|---------------|---------------------|--|
| 商品仕様 | イヤホンタイプ | カナル型 |
| | イヤホン本体質量(片耳) | 約3.5g |
| | 使用温度範囲／湿度範囲 | 5～40℃ 20～80%(ただし結露なきこと) |
| ヘッドホン部 | ドライバー型式 | ダイナミック型 |
| | ドライバーサイズ | φ13mm |
| | 音圧感度 | 108dB |
| | インピーダンス | 32Ω |
| | 防水規格 | IPX4 |
| | 再生周波数帯域 | 20Hz～20kHz |
| マイクロホン部 | マイク感度 | -42dB |
| 通信仕様 | Bluetooth | Ver.5.1 |
| | 対応プロファイル | HFP, AVRCP, A2DP |
| | 対応コーデック | SBC, AAC |
| | 使用周波数帯域 | 2.4GHz帯 |
| | 受信距離／送信出力 | 約10m／Class 2 |
| ヘッドホン部 その他 | イヤホン本体バッテリー量(片耳) | 35mAh |
| | 連続音楽再生時間(※1) | 約5時間 |
| | 連続通話時間(※1) | 約3時間 |
| | 連続待機時間(※2) | 約100時間 |
| 充電仕様 | 充電電圧 | DC5V |
| | イヤホン本体充電時間 | 充電ケースでの充電・約1.5時間 ※充電ケースが満充電の状態、最大3回まで充電可能 |
| | 充電ケース充電時間 | 約1時間 |
| | 充電ケース内蔵バッテリー量 | 250mAh |
| | 充電ケースサイズ(W x D x H) | 60.6 x 22.4 x 45.3mm |
| | 充電ケース質量 | 約26g |
| | 充電ポート | Type-Cポート |

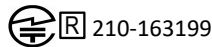
商品仕様

| | | |
|------|----------------|----------------------|
| 機能一覧 | ノイズキャンセリング | DSP |
| | 音声アシスタント | Googleアシスタント/Siri |
| | ハンズフリー機能 | ○ |
| | オート電源オン | ○ |
| | 自動ペアリング | ○ |
| | 左右独立接続(左右独立使用) | ○ |
| 付属品 | イヤークリップ | S/M/L(Mサイズは本体に装着済み) |
| | 充電ケーブル | 充電用Type-Cケーブル(約0.3m) |
| | 取扱説明書兼保証書 | 保証期間6ヶ月 |

(※1)使用時間は50%音量の条件にて算出。接続するBluetooth機器との距離が長い場合など、消費電力が増加するために通話/再生時間が短くなる場合があります。

(※2)Bluetooth接続した状態で音楽再生や通話せずに、イヤホンをケースの外に放置した場合の持続時間。

本製品は工事設計認証を受けています。



Bluetoothについて

- Bluetooth通信の通信範囲は約10mですが、障害物(人体、金属、壁など)や電波状態によって接続有効範囲は変動します。
- Bluetooth機器と無線LAN(IEEE802.11b/g)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、接続速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合は、無線LAN機器の電源を切るか、10m以上離れた場所でご使用ください。
- Bluetooth対応製品の音楽・音声機器とマウス・キーボードなどを同時に接続した場合、音楽や音声途切れることがあります。
- 本製品はBluetooth対応のすべての機器との接続動作を保証するものではありません。
- 本製品は電波法に基づく技術基準に適合していますので、無線局の免許は不要です。ただし、本製品を分解・改造すると法律で罰せられることがあります。
- 無線技術の特性により送信側での音声・音楽再生に比べて本製品での再生が遅れるため、動画視聴時やゲームでのご使用の場合、映像と音声がずれる場合があります。
- 接続する機器によって、Bluetooth接続ができるまで時間がかかる場合があります。